

特別養護老人ホーム初石苑の建て替えについて

1 流山市内における特別養護老人ホームの現状について

市内の特別養護老人ホーム整備数は、令和元年8月1日時点で11か所となっています。広域型が9か所で818床、小規模の地域密着型が2か所で58床、計876床です。入所待機者については、令和元年7月1日現在で298名(昨年同時期比36名増)となっています。

2 第7期から第8期にかけての特別養護老人ホームの整備(新設)について

平成30年度から令和2年度までを期間とした第7期介護保険事業計画では、特別養護老人ホームの整備を110床分位置付けており、そのうち100床は現在美原地区に施工中であり、令和2年4月の開設を予定しています。

また、第8期(令和3年度から令和5年度まで)介護保険事業計画の早期に整備するために、昨年8月21日の全員協議会で説明を行い、第7期計画期間中に公募・選定し、令和3年5月頃に100床の開設を目指し、現在、千葉県補助内示を受けて諸手続きを進めています。

3 初石苑の建て替えについて

社会福祉法人流山あけぼの会が運営する特別養護老人ホーム初石苑(おおたかの森北2丁目64-2)は、昭和58年(1983年)の開設後、36年が経過し建物の外壁や内装だけでなく、調理等の設備や各種配管などの老朽化が進んでいることから、同法人が運営する特別養護老人ホームはまなす苑の隣接地(こうのす台269番地の1)への建て替えを計画しています。

建て替えを移転により行う理由は、現在初石苑に入所中の要介護認定者が建て替えに伴う退所の必要がなく入所生活を継続できるようにするほか、初石苑の所在土地が借地であることに加え新市街地地区土地区画整理事業に伴う施設周辺の環境の変化により将来にわたる施設運営の安定化を図る観点から移転して行うこととしたものです。

なお、建て替え整備数は、現在の50床(多床室50床)から10床増の60床(個室ユニット60床)で行う計画です。開設は、令和4年3月1日を予定し、現入所者の転所後に現在の初石苑は廃止となります。

4 介護保険事業計画との関係について

ア) 特別養護老人ホーム初石苑の建て替えについては、第7期介護保険事業計画の策定時に把握したことから、同計画に必要な数を位置付けています。

第7期介護保険事業計画整備数 = 110床

内訳 新設100床(美原地区に施工中の特別養護老人ホーム慶櫻美原の森)

特別養護老人ホーム初石苑建て替え(既存50床 建て替え後60床)

= 増床10床分を計画に位置付け

イ) 当初、第7期計画期間中に建て替えが行われる予定でしたが、設計等に時間を要したため、5のスケジュールのとおり、当事業の完了が第8期介護保険事業計画期間になるものです。

5 施設整備のスケジュールについて

特別養護老人ホームの整備にあたっては、事業者が県に協議手続きを行うための意見書を市で作成することになります。

